

進めよう！住まいの耐震化！

地震から家族を守るため、境港市は住まいの耐震化を応援します

令和6年1月に発生した能登半島地震では、高齢化率が高く住宅耐震化が進んでいなかった地域で、木造住宅の倒壊被害が多発し、築年数の古い木造住宅の1階部分が押しつぶされるような被害が多くみられました。

境港市では、「倒壊から命を守るための対策」として、高齢者等にも取り組みやすい補助制度を設けました。

その1 住宅や建築物の耐震化にかかる補助金

～まずは耐震診断をしましょう～

平成12年以前に建てられた木造の一戸建て住宅や昭和56年以前に建てられた建築物に対して、耐震化に係る補助制度を設けています。



平成12年以前に建てられた
一戸建ての木造住宅

※木造以外についてはお問い合わせ下さい

昭和56年以前に建てられた
住宅以外の建築物

※面積による上限があります

step 1 耐震診断	無料！	対象費用の2/3
step 2 耐震改修設計	最大 16 万円 設計費の1/2	対象費用の2/3
step 3 耐震改修工事	最大 120万円 工事費の4/5	対象費用の23%
除却(解体)	最大 83.8万円 工事費の23% ※簡易な調査方法により倒壊の危険性を確認したものも補助の対象に追加	対象費用の23%

～空き家の耐震改修をされる方へ～

境港市では、空き家を利活用することを目的としたリフォーム等の改修工事にも補助制度があります。耐震改修工事の補助制度とあわせて、活用することも可能です。また、除却する場合の補助制度もあります。ぜひご検討ください。

(参考) 諸条件があるため、必ず申請前にご相談ください。

- ・空家除却補助金 最大60万円 工事費の4/5
- ・空家利活用補助金 最大90万円(住宅以外は、150万円) 工事費の1/2
- ・特定空家除却補助金 最大120万円 工事費の4/5

その2 耐震シェルター等の命を守るための補助金

○居室単位の改修工事

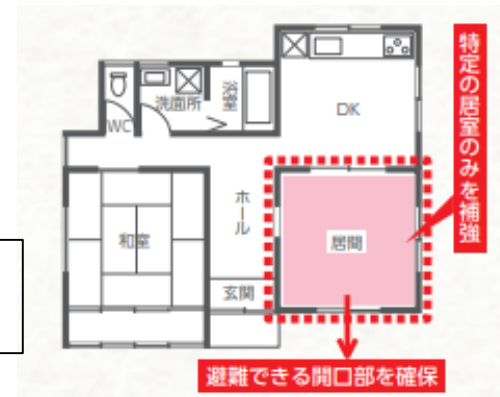
～地震に強い部屋を確保～

特定の居室に限定して、Iw1.5以上を確保する居室単位の耐震改修工事を補助します。

- (Iw値：構造耐震指標)
- ・1.5以上 倒壊しない
 - ・1.0以上～1.5未満 一応倒壊しない

最大 **100万円** 補助
工事費の4/5

※一般的な耐震改修はIw値1.0以上である。



○耐震シェルターの設置

～地震時に避難する空間を確保～

特定の居室に限定して、部屋型のユニットを設置する工事を補助します。

○一般世帯の場合

最大 **83.8万円** 補助
工事費の23%

○高齢者等世帯の場合

- ・満65歳以上
- ・新耐震基準の住宅も適用

最大 **80万円** 補助
工事費の4/5



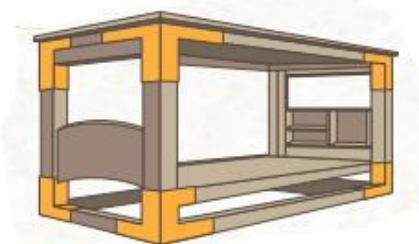
○耐震ベッドの設置

～寝ているときの安全を確保～

高齢者等が居住する住宅に、金属製フレーム等で上部を覆ったベッドの設置を補助します。

- 高齢者等世帯のみ対象
- ・満65歳以上
 - ・新耐震基準の住宅も適用

最大 **50万円** 補助
設置費の4/5



その3 危険なブロック塀の撤去に関する補助金

～ご自宅のブロック塀は大丈夫ですか？～

老朽化が進んでいたり、基準を満たさない施工方法の危険なブロック塀について、**撤去する費用の一部を補助**しています。

道路沿に設置されているブロック塀を**全て撤去**…最大 **60万円** 補助
(基礎共) (撤去費の2/3)

